四年環境新聞

野登小学校

地球温暖化

今地球の気温が上がっています。これを地球温暖化といいます。このまま地球温暖化がすすむと五十年～六十年上がるかもしれません。なぜかというと、北極、南極の氷がとけたからです。これをとめようとするきまりがあります。なぜ温かくなるかというと、人が物を作りすぎたりしているからです。また、街がしずんだり、砂ばくになるかもしれません。これからは、地球全体のことを考えて生活しましょう。

おいしい水の新しいしくみ

金町浄水場では、1972年ごろから、夏になると水がカビくさくなるという問題がおこりました。原因は、水をひいている江戸川のよごれだといわれています。こうしたにおいは、それまでの方法ではとりさることができなかったので、オゾンと生物活性炭をつかっておいやなにおいをとる、新しい施設がつくられました。それが高度浄水施設です。

安楽川の鮭

ネコギギは天然記念物です。でもネコやヤはあまりしられていないのでほご対さくが遅れてきげんしました。ネコギギはせわんと三河わんに流れ込む安楽川にしかいません。でも昔は安楽川にネコギギがいました。2001年7月および2002年5月の県の調さでは残念ながらかくにんできませんでした。安楽川には23種類いたけど今は種類へりました。今すごく川がきたないので川の魚にえいきょうがでることをしないでください。

森は自然のダム

森林では、雨がふった時地面に直せつ雨が、あたりません。木の葉やえだなどを、つたってしずくとなって地面にお ちる。地面にすいとられて、地下水のそうに流されてわき水となる。わきでた水は、川の源水となる。しずくをすいとった落葉はスポンジみたいにふわふわしています。森はすぐれた自然のダムなのです。

ゴミの分別について

ゴミはふつう、もえるゴミ、もえないゴミ、有害なゴミのろっに大きくわけられます。それぞれ、清掃工場で処分する時のしかたがちがいます。あなたは白分でだしたごみを、分別できますか？ゴミをリサイクルするときにいちばん大事なことは、ゴミを種類別にわけて（これを分別という）たとえば、紙ゴミと新聞紙、雑誌、段ボールなどいろいろな種類があります。

生物がへってしまう

紫外線には殺菌作用があります。人間などにつく菌をころします。しかしプランクトンをころしてしまいます。プランクトンが少なくなるとそれをえさにしている魚などがえさがなくなってへってしまいます。すると、それを食べている鳥などがえさがなくなってへってしまいます。このように紫外線の悪い影響が、海の生物全体にひろがってしまうのです。

三重 亀山

野登小学校4年

野登は自然がいっぱいだよ
川もきれいだし。

四年環境新聞は、わかりやすかった？